

那覇港公共国際コンテナターミナル賃貸借契約を締結しました!!

(みなと振興課)

那覇港管理組合は、沖縄 21 世紀ビジョンに位置づけられた「自立型経済の構築」に向けて、「那覇港公共国際コンテナターミナル運営事業」として、平成 17 年 5 月に那覇国際コンテナターミナル株式会社 (NICTI) と賃貸借契約を締結し、民間企業の創意工夫による効率的なターミナル運営により国際競争力の向上に取り組んでおり、将来的には「アジアと日本を結ぶ中継拠点港」としての発展を目指しています。

同コンテナターミナルを運営する NICTI は、平成 28 年 1 月以降、三井倉庫株式会社を中核企業とする新たな経営体制のもと、那覇港における国際物流に貢献してきました。令和 7 年 12 月末で契約期間が終了することから、次期事業契約の締結に向けて両者で協議を重ね、昨年 12 月 23 日に、令和 8 年 1 月から 10 年間の「那覇港公共国際コンテナターミナル賃貸借契約」を新たに締結し、NICTI が継続してコンテナターミナルを運営することとなりました。

契約締結に際しては、那覇港管理組合において調印式を行い、関係者の皆様約 20 名のご臨席のもと、アジアと日本の架け橋となる国際物流拠点の形成に貢献し、新時代沖縄に向けて更なる那覇港の発展に繋がるよう、決意を新たにしました。

今回の契約締結により、管理運営の更なる効率化と新たな貨物獲得に向けた取り組みが期待されます。また、那覇港管理組合としても NICTI と連携を強化し、共に創意工夫に努め、今後の沖縄経済の基盤を支えるとともに、県民生活の向上と県経済の発展に貢献していきたいと考えています。



右：那覇港管理組合 管理者 玉城 デニー
左：那覇国際コンテナターミナル株式会社 (NICTI)
代表取締役社長 福島 則之

(契約の概要)

1. 借借人：那覇国際コンテナターミナル株式会社 (中核企業：三井倉庫株式会社)
2. 契約期間：令和 8 年 1 月 1 日～ 令和 17 年 12 月 31 日 (10 年間)
3. 目標取扱貨物量：12 万 TEU

臨港道路における渋滞対策について

(計画建設課)

【那覇港周辺の渋滞の現状】

臨港道路浦添線及び国道58号浦添北道路の開通に伴い、那覇港臨港道路の交通量が大きく増加しており、なうら橋交差点、曙交差点、明治橋交差点などで渋滞が発生しています。

また、令和元年6月末に大型商業施設が開業した影響で、多くの一般交通車両が臨港道路港湾1号線等へ流入しています。

加えて、物流の拠点である新港ふ頭地区において、令和5年2月から第2クルーズバスを暫定供用したことから、今後は観光関連車両の流入増加も想定されるため、関係機関と連携してハード・ソフト両面からの渋滞対策を実施する必要があります。



臨港道路港湾1号線と各交差点

【曙交差点への交差点集約】

新港ふ頭地区に整備された第2クルーズバスへの交通量増加を想定した渋滞対策の一環として、臨港道路港湾2号線で近接していたトラック協会前交差点と曙交差点を1つに集約（曙交差点へ集約）する社会実験を実施しました。

その結果、曙交差点の渋滞長が190m減少するなど改善が見られたことから、当該道路構造を社会実験期間後においても継続しています。



トラック協会前交差点

【明治橋交差点の渋滞対策】

臨港道路港湾1号線から明治橋へ向かう右折2車線では、滞留延長が足りず右折車両が直進車線にはみ出し、渋滞が発生していました。

道路改良工事により右折車線を105mから240mへ延長(約2.3倍)したことで、直進阻害が低減され、渋滞の緩和が認められました。



明治橋交差点

【今後の対策】

新港ふ頭地区内の道路通行の優先関係を整理して交通の円滑化を図ることや、なうら橋交差点の右折2車線化について関係機関と協議を行い、引き続き交通渋滞の緩和を図っていきます。

那覇港管理組合議会議員視察報告（韓国済州島、韓国釜山、福岡県福岡市）

（議会事務局）

那覇港管理組合議会（仲村家治 議長）は、令和7年11月18日から21日までの日程で、韓国の済州島及び釜山、福岡県福岡市の港湾施設を視察しました。

（1）11月19日 西帰浦江汀（ソギポ・カンジョン）クルーズ港（韓国済州島）

韓国の最南部に位置する済州島は、中央にそびえる韓国最高峰の漢拏山（標高1,950m）と様々な形状の海岸線を有する景観の美しい島です。

西帰浦江汀クルーズ港は済州島の南側に位置し、クルーズターミナルは2018年5月に竣工しました。近年、クルーズ船の寄港が増加傾向にあり、2025年の寄港予定は視察時点で192回（約55万人）とのことでした。

議員からは、主要航路、ターミナル使用料、フライ&クルーズ、二次交通の状況、入国審査に係る時間や取組など様々な質問がなされました。



西帰浦江汀クルーズターミナル前にて



意見交換の様子



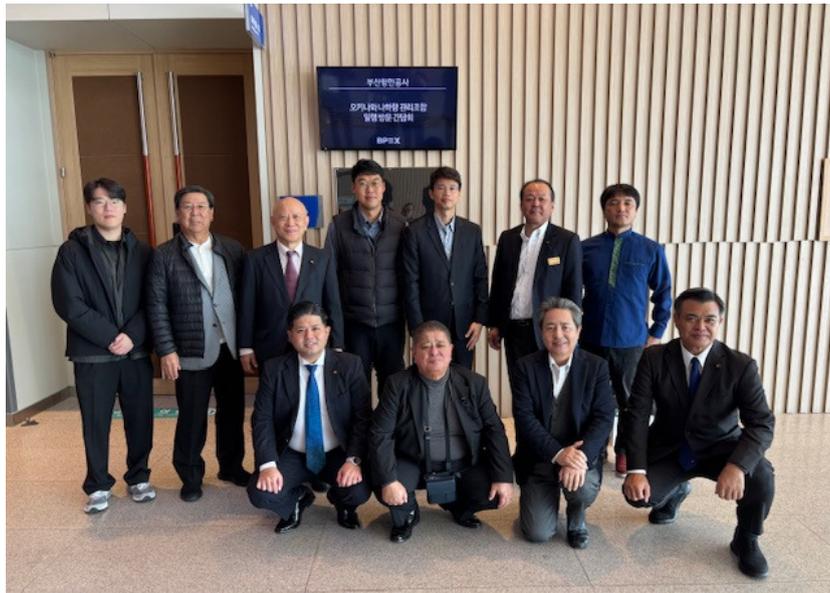
済州島の中心に位置する漢拏山（ハルラサン）

(2) 11月20日 釜山港国際旅客ターミナル（韓国釜山）

韓国南部に位置する釜山は、韓国最大の港町であり、長崎県対馬市から約50kmと日本の九州からも非常に近い場所にあります。

釜山港国際旅客ターミナルは、国際的なフェリー及びクルーズの拠点で、福岡や大阪などと定期航路で結ばれています。釜山駅から徒歩10分と利便性の高い立地であり、施設内には旅客ターミナル機能だけでなく、イベント等で活用できる会議室等も整備されています。

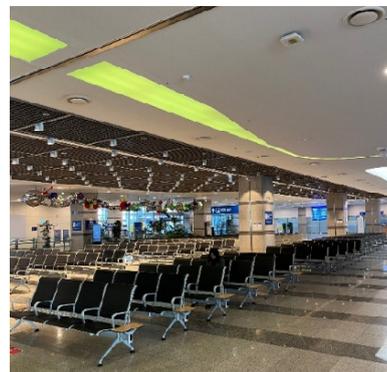
議員からは、主要航路やフライ&クルーズなどのほか、ポートセールスや管理運営の手法など様々な質問がなされました。



釜山港国際旅客ターミナルにて



意見交換の様子



広いターミナル施設に並ぶ待合席やカウンター



ターミナル内を視察



(3) 11月21日 博多港（福岡県福岡市）

古くから中国大陸や朝鮮半島との海の玄関口として発展してきた博多港は、福岡市港湾空港局が管理しており、福岡空港や博多駅、市街地からも近い場所にあります。

近年では、韓国釜山から約200km、中国上海から約900kmという地理的優位性を生かし、国内外のクルーズ船が多数寄港しています。コロナ禍前の2016年には328回の寄港（約170万人）を記録し、2025年の寄港予定は視察時点で193回（約100万人）と、日本を代表するクルーズ拠点となっています。

博多港では、受入環境整備のため、岸壁や施設整備のほか、クルーズ旅客関連バスの渋滞対策など、観光関連部署等と連携したソフト面での取組も進められています。

議員からは、入国審査にかかる時間や取組、ターミナル使用料、ソフト面の取組や管理運営の組織体制についてなど様々な質問がなされました。



博多港センタービル前にて



視察の様子



意見交換の様子



視察当日に寄港していたクルーズ船

令和8年度

那覇港輸送効率化支援事業

～アジアと日本を繋ぐ物流拠点へ～



那覇港を利用した輸送ルート転換で 補助金最大100万円



那覇港のサービス概要

- 外国航路7航路(北米、台湾、中国、韓国など)
- 2バース体制(岸壁延長計650m、水深14～15m)
- ガントリークレーン3基、リーファー電源126口
- 総合物流センター隣接(4温度帯対応)

那覇港管理組合

Naha Port Authority

【お問合せ先】
那覇港管理組合 みなと振興課
企画・物流班
TEL : 098-868-2582



《補助対象》

- 海上輸送費・陸上輸送費・保管費等の本事業で要した経費のうち**50%**が対象
- 1事業(1ルート)あたり最大**100万円**

* ただし、交付額については予算の範囲内で決定・交付します。(交付要綱及び公募要項を参照)

《対象要件》

※詳細は公募要項等を参照ください。

- ① 国際コンテナを取り扱う荷主、物流事業者、商社等であること
- ② 輸送パターンⅠ型、Ⅱ型に合致するルートであること
- ③ 那覇港を今後継続的に利用する計画であること

《輸送パターン例》

パターンⅠ型

那覇港へ直接輸出入するルートへシフト

従前



シフト後



パターンⅡ型

那覇港を中継港として国内本土港と国外港を結ぶ輸移出入ルートへシフト

従前



シフト後



令和8年度



那覇港新規航路誘致促進事業

那覇港における航路の拡充と国際コンテナ貨物の増大を実現することを目的に、**新規の国際航路を開設**する外航船社に対し、その費用の一部を支援します。

那覇港を利用した新規国際航路の開設で
1寄港あたり

補助金最大 150万円

対象事業者

- 外航船社またはその日本代理店

那覇港のサービス概要

- 外航航路 7 航路（北米、台湾、中国、韓国など）
- 2バース体制（岸壁延長計650m、水深14~15m）
- ガントリークレーン 3基、リーファー電源126口
- 総合物流センター隣接（急速凍結庫、超低温倉庫完備）



那覇港管理組合

支援対象

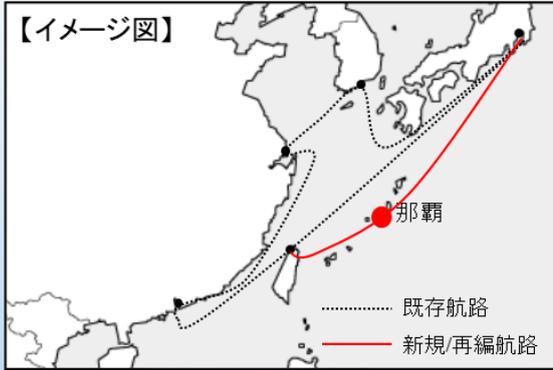
■ 那覇港への新規寄港による国際航路の開設

■ 那覇港寄港航路の再編による、那覇港と新たな寄港地を直接結ぶ国際航路の開設

* 但し、トランシップ貨物は対象外。

■ 那覇港への新規寄港による国際航路の開設

【イメージ図】

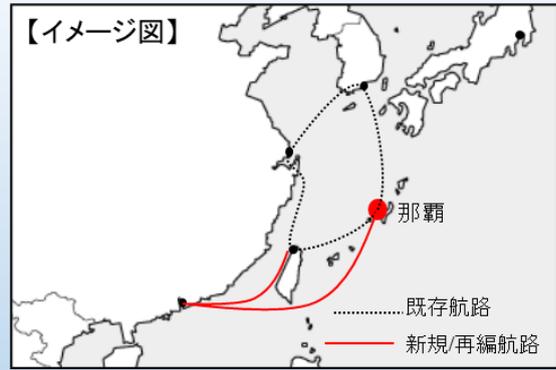


【支援内容】

支援内容	上限等
・タグ、パイロット費用 ・綱取り/放し費用 ・燃料費 等	1寄港当たり最大 150万円

■ 那覇港に寄港している航路の再編による 那覇港と新たな寄港地を直接結ぶ国際航路の開設

【イメージ図】



* 他港を経由せずに寄港地として新たに那覇港と直接結ぶ国際航路に限る。

【支援内容】

支援内容	上限等
・タグ、パイロット費用 ・綱取り/放し費用 ・燃料費 等	1寄港当たり最大 75万円

* ただし、交付額については予算の範囲内で決定・交付します。(交付要綱及び公募要項を参照)

支援の要件

- 那覇港における新規の国際航路の開設
 - 那覇港への新規寄港または既存航路の再編により、現在の那覇港の航路ネットワークが拡充されると認められるものであること
 - 補助金交付決定通知の日以降に開設された新規の国際航路であること
 - 原則として、令和9年1月末まで航路を運航（那覇港に月2～4便、定曜日に寄港）すること
- 輸送の効果検証、結果活用の同意
 - 輸送関連情報（海上運賃、リードタイム、輸送実績等）の提供（事前・事後）の提供
 - 本事業に係るヒアリング調査への協力

* 詳細は別途、「公募要項」をご参照下さい。



区分	寄港地
北米	ロサンゼルス（サンペドロ）－オークランド－横浜－那覇－釜山－青島－上海－釜山－ロサンゼルス（サンペドロ）
	ロングビーチ－ホノルル－アプラクガム>－那覇－寧波－上海－ロングビーチ
中国	上海－大阪－神戸－那覇－上海
フィリピン	ダバオ<フィリピン>－那覇－（博多）－（神戸）－ダバオ<フィリピン>
東アジア （台湾）	※先島航路の延長 那覇－平良－石垣－高雄－那覇－博多－鹿児島－那覇
	※先島航路の延長 那覇－平良－石垣－（厦門）－（高雄）－那覇－平良－石垣－那覇
	那覇（1st）－八代－釜山－松山－大分－志布志－那覇（2nd）－基隆－台中－高雄－那覇（1st）

※ 赤字は最終港 ※ () は不定港

那覇港管理組合

【お問合せ先】

那覇港管理組合 みなと振興課 企画・物流班

TEL : 098-868-2582



2026年 みんなで遊びにいこう!

波の上ビーチ 海開き

日時 **4月5日**

午前10時より

場所 **波の上ビーチ (若狭側)**

当日限定!

★遊びにきてくれた
子ども達には
お菓子の
プレゼントがあるよ。
※対象:小学生以下、
数に限りあり。

プログラム

MC
マルキヨビル

海開きセレモニー

10:30~ テープカット 【勝連康介】【ひばり】

10:45~ 海中じゃんけん大会

遊泳開始は海開き宣言後

海中じゃんけん大会

盛りだくさん!
豪華景品が

参加資格 子供のみ(未就学児から小学生)
大人NG

服装 水着、濡れても良い服装

集合場所 ビーチ(若狭側) イベント受付テント

※小さなお子様は、安全上、保護者同伴をお願いします。景品はお子様のみとなります。
※景品は数に限りがございます。
※当日の海況によっては実施できない場合もございます。

体験 ★海びらき当日限定!

※当日の海況によっては実施できない場合もございます。

①シーカヤック

参加要領 11:00~12:00 (体験時間:20分)

参加年齢 先着順30名限定、6歳~保護者同伴

参加費 500円 (小学生のみ保護者同伴)

問い合わせ先 Tel.080-7024-8169

②SUP

参加費 小学生以下 無料

中学生以上(大人) 500円

問い合わせ先 Tel.090-7232-1173

③水上バイクアクティビティ

参加費 マーブル 2,200円(税込)

バナナボート 1,650円(税込)

※料金に含まれるもの:機材レンタル費、ガイド代、保険代

参加年齢 3歳~(但し、3歳~8歳は保護者同伴)

持参品 水着、タオル

問い合わせ先 Tel.080-6497-7950

★人気の
キッチンカーも
やってくる!



主催: 十八・シー・パラダイス共同企業体 お問い合わせ先: 波の上うみぞら公園管理事務所 TEL.098-863-7300

※ビーチ駐車場は敷に限りがあります、公共交通機関のご利用にご協力くださいますようお願いいたします。

那覇港とびっくす



ノルウェー جان・サン号初寄港

11/9(日)

- バハマ船籍のスタンダードクラスのクルーズ船、ノルウェー・サン号（総トン数78,309トン、全長258m、乗客定員数2,323人）が、那覇クルーズターミナルに初寄港しました。
- コンパクトでクラシックなデザインとエレガントな内装が特徴の同船は、オーナーズスイート、ペントハウス、ファミリーバルコニー等の客室を備え、フィットネスセンターではパノラマの景色を眺めながらエクササイズもできます。



ありがとう「にっぽん丸」、引退前ラスト寄港

12/1(月)

- 今年5月に引退する「にっぽん丸」が最後の寄港をしました。
- 「にっぽん丸」は2010年に初寄港して以来、15年間で65回寄港した、那覇港にとって大変なじみの深いクルーズ船です。その最後の寄港を記念して、那覇クルーズターミナルでお見送りの式典を行いました。式典終了後は、エイサーと獅子舞の演舞とともに、那覇港関係者が岸壁から手を振って、その最後の出港を見送りました。



那覇港振興協議会新年祝賀名刺交換会

1/7(水)

- 那覇港を利用する船社や港運会社等で構成する那覇港振興協議会（会長：宮城茂 琉球海運(株)代表取締役会長）による「令和8年新年祝賀名刺交換会」がパシフィックホテル沖縄で開催されました。
- 宮城会長の主催者挨拶に続き登壇した玉城デニー那覇港管理組合管理者は「今後も関係機関と連携しながら那覇港の整備、管理、運営に取り組んでいく」と決意を新たにしました。また、仲村家治那覇港管理組合議会議長による乾杯も行われ、参加者167名が新年の幕開けを祝い、那覇港の更なる振興・発展を誓いました。

新港ふ頭12号岸壁（第2クルーズバース）



「那覇港国際旅客船拠点形成計画」の策定

1/21(水)

- 「那覇港国際旅客船拠点形成計画」を策定し、公表しました。
【掲載URL】<https://nahaport.jp/news/cruise200601/>
- 那覇港では、国土交通大臣から国際旅客船拠点形成港湾の指定を受け、MSCクルーズS.A.社及びロイヤルカリビアン・クルーズ社とともに、フライ&クルーズ等の高付加価値で多様なクルーズの受入環境整備に向け、国際クルーズターミナル拠点の形成に取り組んでいます。
- 今後は、連携船社2社と協定を締結し、官民連携で新たな旅客ターミナルビル等の施設整備・運用を行うなど、那覇港の国際クルーズ拠点化を推進していきます。



アイダ・ディーバ号初寄港

1/21(水)

- 世界最大のクルーズ企業である米カーニバル・コーポレーション傘下で、ドイツのクルーズオペレーター（運航船社）アイダ・クルーズ社が運航するアイダ・ディーバ号（総トン数69,203トン、乗客定員数2,050人）が那覇港に初寄港しました。
- 初寄港を記念して、那覇クルーズターミナルで式典が開かれ、那覇港管理組合の照屋寛志常勤副管理者より、記念の盾が送られました。



米船社マトソン訪問及びホノルル港視察

2/17(火)

- 米国西岸と中国を結ぶ米マトソン社が、2021年9月にマトソン・ SHIPPING・ジャパン(株)を設立し、今年度、沖縄に事務所を開設したことから、米国ハワイ州のマトソン社を訪問し、那覇港での貨物増大に向けた今後の取組について意見交換しました。
- また、海外の先進事例を那覇港の管理運営に活かすため、ホノルル港で同社が管理するコンテナターミナルを管理棟から視察し、貨物の搬入から搬出までの流れ等、現地のオペレーションを確認しました。


那覇港写真館




にっぽん丸の最後の出港をお見送り



アイーダ・ディーバ号の初寄港式典



ホノルル港のマトソン社コンテナターミナル

**** 那覇港だよりに関するお問い合わせやご意見、情報の送り先 ****

那覇港管理組合 総務部 総務課
 〒900-0035 那覇市通堂町2番1号
 TEL:098-868-2578 FAX:098-868-2629
 e-mail: kumiai@nahaport.jp